

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和04年03月01日

計画の名称	相模湾の港湾における安全で快適な港づくり（防災・安全）【重点】												
計画の期間	令和02年度～令和03年度（2年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	神奈川県												
計画の目標	老朽化した港湾施設の補修を行うことで長寿命化を図り、安全性を確保する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	59	A	59	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画的成果目標（定量的指標） 定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初		R3末
1	港湾施設の点検診断判定区分Aを解消する。 対象施設の維持管理計画策定時の点検診断結果（A判定）に対し、A判定を解消するための適切な補修ならびに補修計画の立案を行う。	0%	%	100%

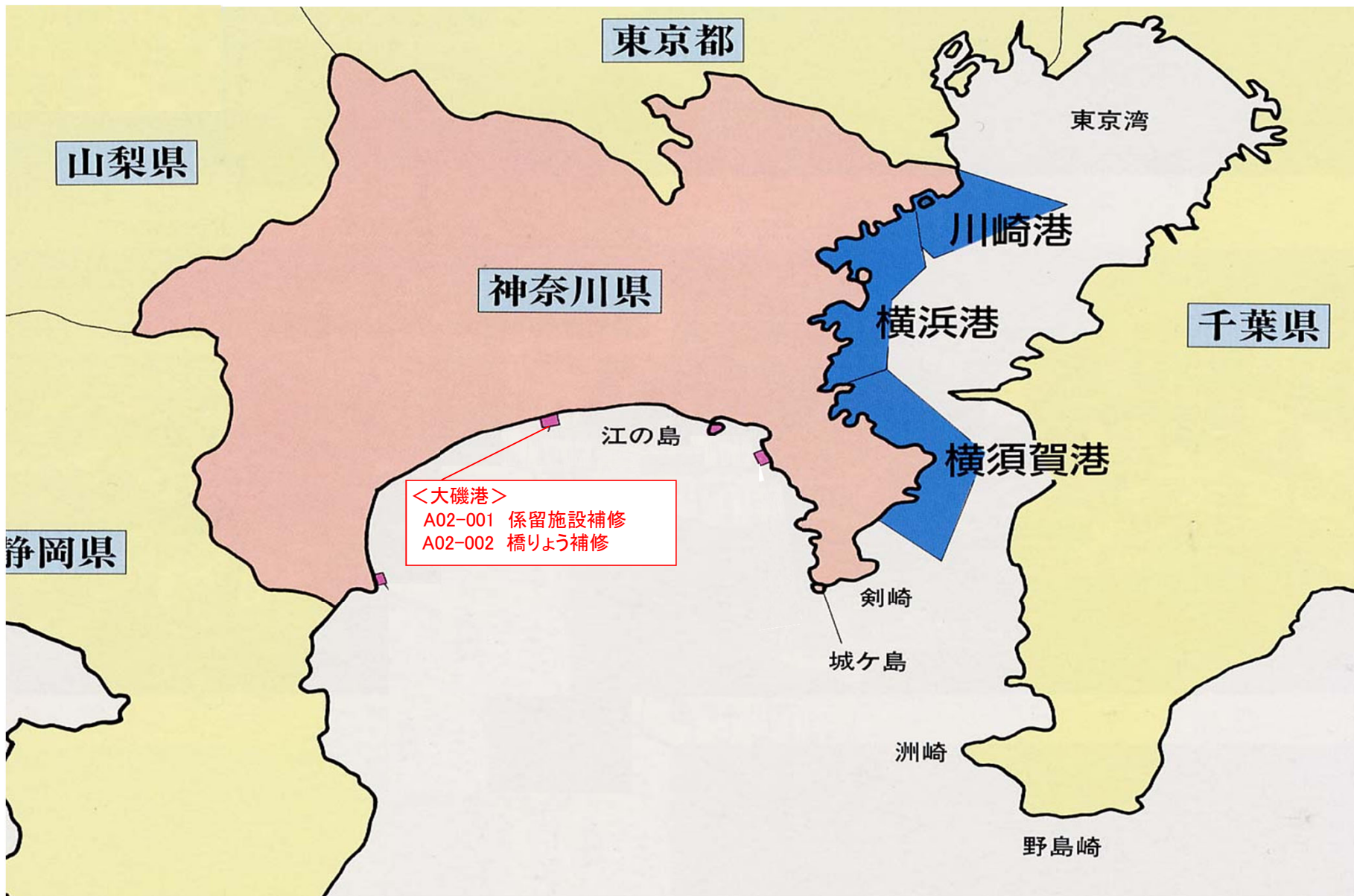
備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	<input type="radio"/>	定住自立圏を含む	<input type="checkbox"/>	連携中枢都市圏を含む	<input type="checkbox"/>	流域水循環計画を含む	<input type="checkbox"/>	地域再生計画を含む	<input type="checkbox"/>
-----	-----------	-----------------------	----------	-----------------------	----------	--------------------------	------------	--------------------------	------------	--------------------------	-----------	--------------------------

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R02	R03	R04	R05	R06				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
港湾事業	A02-001	港湾	一般	神奈川県	直接	神奈川県	地方	改良	係留施設補修	防舷材等補修 N=1 式	大磯港 大磯地区	■	■				51		策定済	
	A02-002	港湾	一般	神奈川県	直接	神奈川県	地方	改良	橋りょう補修	橋りょう補修 N=3 橋	大磯港 大磯地区		■				8		策定済	
											小計							59		
											合計							59		

社会資本総合整備計画（防災・安全交付金）

計画の名称	相模湾の港湾における安全で快適な港づくり（防災・安全）【重点】	交付対象	神奈川県
計画の期間	令和2年度～令和3年度（2年間）		



交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R02	R03			
配分額 (a)	17	3			
計画別流用増△減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	17	3			
前年度からの繰越額 (d)	0	17			
支払済額 (e)	0	0			
翌年度繰越額 (f)	17	0			
うち未契約繰越額(g)	17	0			
不用額 (h = c+d- e- f)	0	20			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	100	100			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	工事着手箇所について施工計画の変更に不測の日数を要したため				

事前評価チェックシート

計画の名称： 相模湾の港湾における安全で快適な港づくり（防災・安全）【重点】

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性（計画の目標が港湾の整備計画や地域防災計画等の上位計画と適合している。）	○
I. 目標の妥当性	
②地域の課題への対応 ○課題を踏まえた目標を設定し、課題への対応方針が妥当である。	○
II. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
II. 計画の効果・効率性	
②定量的指標の明瞭性	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	○
II. 計画の効果・効率性	
④事業の効果 ○事業規模、施設諸元が適切であり事業実施により十分な効果が発揮される。	○
III. 計画の実現可能性	
①地元の機運 1) 多様な主体との連携が図られている。	○
III. 計画の実現可能性	
①地元の機運 2) 地元や地元市町との調整が図られている。	○
III. 計画の実現可能性	
②円滑な事業執行の環境 1) 住民等の合意形成が整っている。	○
III. 計画の実現可能性	
②円滑な事業執行の環境 2) 事業計画のスケジュールは妥当なものとなっている。	○